第２回那須烏山市総合政策審議会 会議録

■日　時：令和元年８月２９日（木）１０：００〜１２：１０

■場　所：烏山庁舎２階 第４会議室

■出 席 者：

（審議会委員）

 中村祐司会長、仲澤清一委員、石川翔平委員、加藤忠一委員、山村浩之委員、中村恵之委員、

島崎健一委員、澤村豊純委員、柳田京子委員、髙橋誠一委員、田島久男委員、飯田淳一委員、

髙橋寛之委員　　※欠席：川俣優委員、荒井一浩委員

（市役所）

 　 ○総合政策課：石川参事兼課長、髙野課長補佐、櫻井係長、倉堀主事

（担当課）

　　○農政課：深澤主幹、永島補佐

　○総務課：菊地主幹

　　○こども課：川俣課長、安藤館長、小口主幹、星保健師主幹

　○まちづくり課：星主幹、井上補佐、江守補佐

■協議内容（概要）

総合戦略事業の効果検証について

　≪特産品のブランド化推進≫

　　会長）中山かぼちゃについて、地理的表示（ＧＩ）はどのように活用できるのか。また、６次産業化は難しいのか。

　　農政課）地理的表示について、国の認証を受けることで他産品との差別化がされ中山かぼちゃが

中山地区固有のものであることが証明できるようになる。６次産業化については、アイ

ス以外はなかなか進んでいない。

　　　委員）鳥取県では、大学と連携し２０世紀ナシの葉を活用した商品開発をしている。本市でもこのような他自治体の取り組みを参考にして商品開発に取り組んでほしい。

　　　委員）中山かぼちゃ自体がおいしいのであれば、素材を活かして加工せずに売り出してもよいのではないか。

　　≪新規就農等の総合支援≫

　　　会長）国の補助対象となる新規就農者３名は、どう評価しているのか。

　　　農政課）毎年、何十人も離農している中で、実績３名は少ないと感じている。

　　　委員）実際に那須烏山市で農業をやりたいという方がいるので、新規就農者に結び付くよう、もっとＰＲが必要だと思う。

　　　農政課）東京でＰＲ活動を実施したが、成果としてはあがらなかった。今後も粘り強く取り組んでいきたい。

　　≪都市住民との交流促進≫

　　　委員）都市住民との交流について、豊島区以外からも人を呼び込めるような仕組み作りが必要だと思う。

　　　農政課）庁内関係課で調整し、今後の事業の在り方について検討していきたい。

　　≪未利用財産の利活用≫

　　　委員）未利用財産の利活用について、地域の方との調整等は行っているのか。

　　　総務課）地域で活用したいとの要望があるものについては、賃貸している。

　　　委員）旧興野小体育館は、定期的に小学生が利用しているが、売却後はどう対応しているのか。

　　　　　　また、旧境小の引き合いの現状はどうなのか。

　　　総務課）市内の別の体育施設を活用している。また、旧境小は地域のまちづくりに貢献したいというＮＰＯ法人と調整中である。

　　≪公共サイン計画≫

　　　会長）公共サインについては、市を訪れた方が良い印象を持つよう、さらに推進していただきたい。

　　≪妊娠・出産支援≫

　　　会長）乳児家庭全戸訪問はとても素晴らしい取り組みであり、進めていただきたい。

　　　委員）不妊治療をされている方から費用の負担が大きいとの声を聞いたことがある。手厚い対応をお願いしたい。

　　　こども課）現在、治療費の1/2で、１年度当たり20万を限度に助成している。

　　≪子育て支援サービスの充実≫

　　　会長）ファミリーサポートセンター事業が進まない原因は何か。

　　　こども課）平成２７年度から事業を実施しているが、原因の１つとして、自分の子を他人に見てもらうことが心配であるとの意見があった。今後は、会員相互の交流を図っていきたい。

　　　委員）他自治体では、子供の健診の際に事業のＰＲを行うことにより、効果的に口コミ等で広まっているケースもあるので、ぜひ、参考にしてほしい。

　　≪若者ふれあい交流事業≫

　　　会長）事業を進めるにあたって、個人情報の問題が支障となっているのか。

　　　こども課）以前と比べると個人情報の取り扱いが難しくなってきている。なお、県でも婚活事業を実施していることから、あっせんはしている。

　　　委員）近隣の自治体と連携して取り組むことで効果が上がるのではないか。

　　　こども課）那珂川町等と情報交換はしている。

　　　委員）田舎暮らしをしたいという都会の人にＰＲをしてもよいと思う。

　　≪地域おこし協力隊≫

　　　会長）人材確保が課題であると思う。

≪定住支援の促進≫

　　　委員）先進的な自治体の取り組みを参考に人口減少対策に取り組んでいただきたい。

　　　会長）実際に住宅取得奨励金や空き家バンク等による成果もあることから、今後も事業を推進していただきたい。

　　≪ＪＲ烏山線の利用向上≫

　　　委員）ＪＲ烏山線は市にとってとても重要な交通機関であるため、今後も事業を推進していただきたい。

　　≪営業戦略推進部隊による情報発信≫

　　　会長）各課横断的に取り組むことはとても良いことである。事業が進まない要因は何か。

　　　まちづくり課）部隊の在り方について、検討していきたい。

　　≪デマンド交通の充実及び普及促進≫

　　　委員）デマンド交通利用向上アンケートの結果を良く分析し事業に反映いただきたい。

　　　まちづくり課）アンケートの結果としては、既に利用している方の満足度は高かったが、荷物の制限や時間の制約等に対してもっと利便性を図ってほしいとの意見があった。

　　≪ツールド・とちぎ≫

　　　会長）今年度を持って事業が終了となるのは、残念である。

　　≪ふるさと大使の任命とＰＲ≫

　　　委員）効果的な活動は実施しているのか。

　　　まちづくり課）過去に市のＰＲを兼ねた名刺を配布していただいたことがある。

　　≪再生可能エネルギーの推進≫

　　　会長）メガソーラーの影響は。

　　　まちづくり課）自然エネルギーとして良いところがある反面、景観や自然破壊の問題があるため、今後、対応について検討していきたい。

　　≪提案事業に対する支援≫

　　　会長）補助終了後も団体へのフォローが必要だと思う。

■その他

　（委員）

　　・市の人口について、市に住民票はあるが実際には市外に行っている方がいる。また、近年、外国人労働者の人数が増加しているように感じられる。市としてそれらの実態を把握したうえで、次期計画策定に活かしていただきたい。

　　・この２年間でまったく進んでいない施策がある。次期計画においては、民間等も活用しながら、やるべきことを集中的に実行していただきたい。

　（事務局）

　　・総合戦略事業の効果検証について、各委員から追加で意見等がある場合は、9/13までに総合政策課に提出いただきたい。

　　・次期総合戦略の策定に関して、計画素案がまとまり次第、総合政策審議会に諮問する。

　　　予定では、今年度２回程度会議を開催予定。（１１月及び来年１月または２月頃）